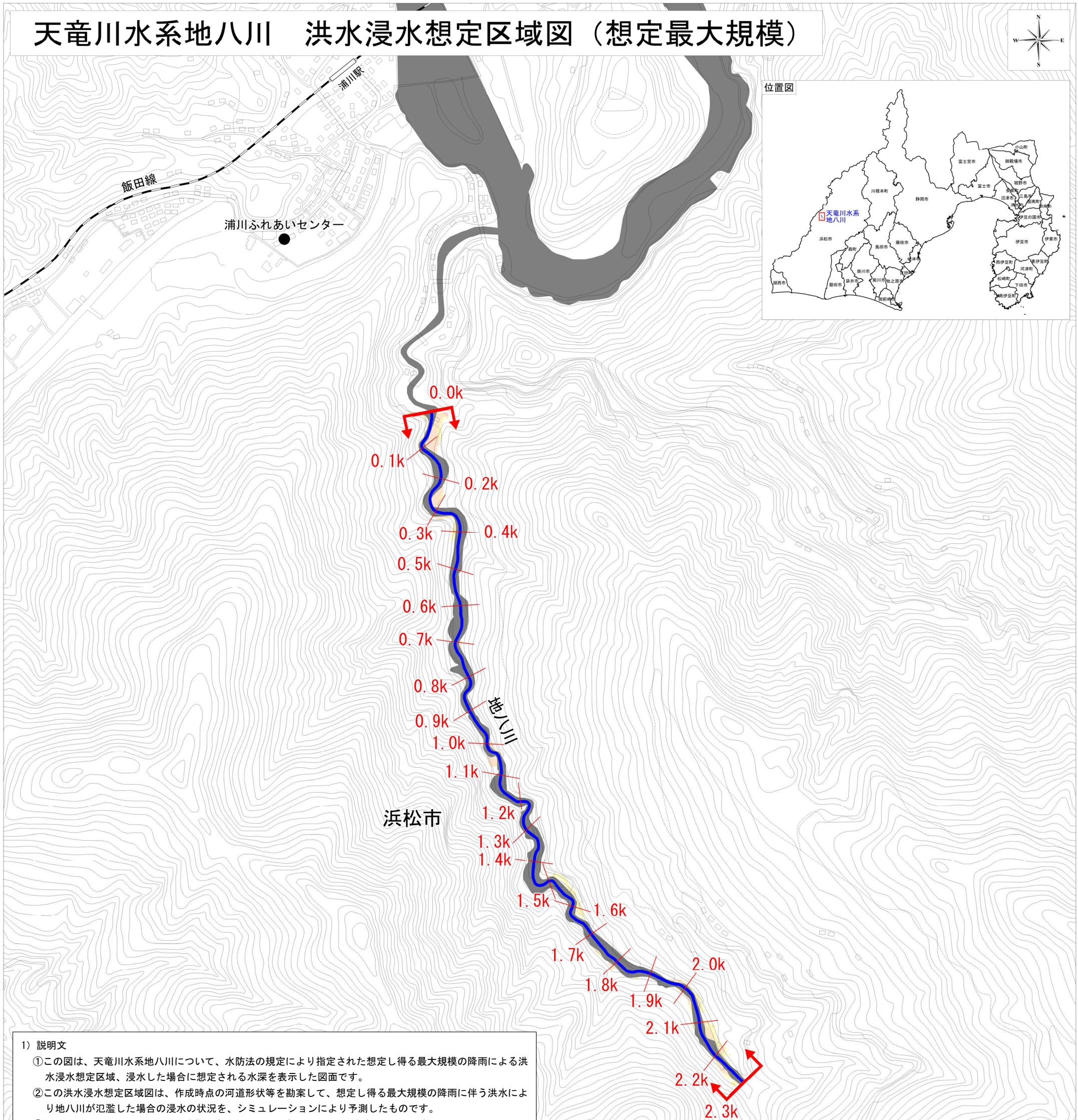
天竜川水系地八川　洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



1）説明文

①この図は、天竜川水系地八川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

②この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により地八川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①作成主体	静岡県
②指定年月日	令和７年　３月　３１日
③告示番号	静岡県告示第２５５号の１７
④指定の根拠法令	水防法（昭和２４年法律第１９３号）第１４条第２項
⑤対象となる河川	天竜川水系　地八川（実施区間）
	左岸：浜松市天竜区佐久間町浦川字西ノ沢 3764 番の 2 地先から川内川への合流点まで
	右岸：浜松市天竜区佐久間町浦川字西ノ沢 3764 番の 1 地先から川内川への合流点まで
⑥前提となる降雨	大千瀬川流域の 12 時間の総雨量 540㎜
⑦関係市	浜松市

3）その他計算条件等

①この図は、地八川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和５年７月）等に基づき、越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

②堤防の破堤は考慮しておりません。

③河道とその周辺を一体として 100m ごとに浸水位を計算し、5m メッシュの平均地盤高との差をとることで浸水深を算出しており、微地形による影響が反映できない場合があります。

④河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 544」

※A1出力時は1:5,000、A3出力時は1:10,000